

各種財政指標

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	説 明
財 政 力 指 数	0.16	0.15	0.15	0.15	0.15	財政運営の自主性の大きさを表す指数で、数値が高いほど自主財源の割合が高く、財源に余裕があります。
経 常 収 支 率	97.2	99.5	96.4	89.1	93.2	財政構造の弾力性を示すものです。経常一般財源に占める義務的経費等の割合で、数値の上昇は自由に使える財源が少なくなることを意味しています。
実 質 公 債 費 率	11.4	12.3	12.9	12.9	13.3	一般会計等が負担する借入金の返済額の標準財政規模に対する比率です。18％以上になると地方債を発行する際に国の許可が必要になります。 ※実質公債費比率は3年間の平均
将 来 負 担 率	29.1	44.2	44.9	39.2	29.7	一般会計等が将来負担する実質的負債の標準財政規模に対する比率です。350％以上になると、財政健全化計画策定団体となります。

令和4年度の主な普通建設事業



特別会計

特 別 会 計 名	歳 入	うち繰入金	歳 出	差引額
国民健康保険	9億2,138万円	9,770万円	9億 648万円	1,490万円
後期高齢者医療	1億5,171万円	4,540万円	1億5,072万円	99万円
介護保険	8億7,930万円	1億4,160万円	8億6,161万円	1,769万円
介護サービス	4,201万円	2,170万円	4,169万円	32万円
特別養護老人ホーム	3億7,611万円	1億 370万円	3億7,393万円	218万円
国民健康保険診療所	6,963万円	5,742万円	6,904円	59万円
へき地出張診療所	636万円	140万円	590万円	46万円
C A T V	5,180万円	1,710万円	5,113万円	67万円
公共下水道	4億 487万円	2億3,700万円	4億 291万円	196万円
簡易水道	5,936万円	5,500万円	5,850万円	86万円
農業集落排水	5,716万円	4,520万円	5,460万円	256万円
浄化槽	2,828万円	2,200万円	2,758万円	70万円
魚島船舶	1億3,473万円	3,430万円	1億3,338万円	135万円
生名船舶	3億3,151万円	940万円	2億9,372万円	3,779万円



公営企業会計

収益的収支…水道水を供給するために必要な財源と経費 (税込)

収 入	支 出	差引利益
2億5,672万円	2億4,693万円	979万円

資本的収支…水道施設を建設・改良するために必要な財源と経費 (税入)

収入	支 出	差引利益
0	6,004万円	▲6,004万円

※不足額はこれまでの利益を積み立ててきた留保資金や減債積立金等で補てん。

～決算から見える 町の財政状況～

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	説 明
町債残高	134億 8,265万円	128億 3,079万円	126億 6,649万円	122億 409万円	112億 504万円	町の全会計における町債残高（借金）の推移です。令和4年度の町民1人あたりの借金は、181万184円です。 ※うち約6割が交付税により措置されます
基金残高	31億 4,485万円	28億 8,431万円	26億 2,931万円	27億 877万円	28億 2,894万円	町の全ての基金（預金）の推移です。令和4年度の町民1人あたりの預金は、45万7,017円です。

特別会計とは、一般会計とは別に設けられ、特定の収入と支出で経理を行う会計です。

繰入金…一般会計から特別会計への現金の移動を表します。法律等に基づく支出や特別会計の赤字を補填するための支出等があります。
4年度の総額は8億8,892万円。

上水道事業は、一般会計から切り離され、公営企業会計として料金収入で必要経費を賄う独立採算が原則です。

資本的収支では、配水管や管理棟を適切に維持管理する資金を確保するため、資金を運用しました。今後も老朽化した設備の更新などを計画的に進めます。